



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月26日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 4838 URL http://www.spaceshower.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 正司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北島 直樹 TEL 03-3585-3242
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	3,328	0.6	39	△80.0	42	△79.5	31	△78.6
30年3月期第1四半期	3,309	6.5	199	36.3	209	38.2	149	55.8

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 31百万円 (△78.6%) 30年3月期第1四半期 149百万円 (56.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	2.82	—
30年3月期第1四半期	13.17	—

(参考) 持分法投資損益 31年3月期第1四半期 △1百万円 30年3月期第1四半期 △1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	7,474	4,317	57.8
30年3月期	8,045	4,398	54.7

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 4,317百万円 30年3月期 4,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,477	△2.2	205	△58.2	217	△56.7	143	△57.4	12.62
通期	15,000	△0.6	347	△41.2	370	△41.9	231	△30.6	20.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	11,330,800株	30年3月期	11,330,800株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	－株	30年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	11,330,800株	30年3月期1Q	11,330,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が堅調を持続し、雇用環境も改善が持続するなど、景気は緩やかに持ち直して推移いたしました。また、世界経済においては、底堅く推移しているものの、米国の保護主義への傾斜とそれに端を発する貿易摩擦の激化が不安材料となっております。

当社グループに関連する、放送業界、音楽業界、エンタテインメント業界においては、市場環境や消費者ニーズが大きく変化を遂げております。とりわけ、デジタル化やグローバル化に伴う事業環境の激変は、当社の既存ビジネスである有料放送事業や音楽販売事業においても大きな影響を及ぼしつつあります。

こうした環境の下、当社グループでは、創業以来行ってきた音楽映像コンテンツの企画制作及び有料多チャンネル放送プラットフォームにおける音楽専門チャンネルの運営をベースとしつつも、ライブイベント展開、デジタルコンテンツ制作や各種デジタルサービス展開、音楽レーベルからアーティストマネジメントに至る展開まで、当社グループが有するあらゆる機能を複合的に活用しながら、多様なメディア・コンテンツ事業を展開し、総合音楽エンタテインメント企業へと事業転換を図ってまいりました。また、ファンクラブ事業を展開するコネクトプラス(株)、コンセプトカフェ運営を行うインフィニア(株)、映像制作プロダクションの(株)セップ、老舗インディーズレーベル運営の(株)Pヴァイン等、これら連結子会社とともに、新たな分野での成長施策の推進、事業領域の拡大に向けた企業グループ経営を推進しております。

当第1四半期連結累計期間においては、当社所属アーティストの「Suchmos（サチモス）」が『2018 NHK サッカーテーマ曲』を担当することとなりました。NHKで放送された2018 FIFA ワールドカップ ロシア大会をはじめとしたサッカー中継に関連する番組のテーマ曲として使用されることになり、幅広い世代に対してアーティストとしての認知をより一層広げることができました。

2018年5月には、インフルエンサーを利用したメディアプロモーションを主業とし、Web動画制作やSNSアカウント管理等を手がけるGROVE(株)に出資参画することを決定し、2018年7月よりGROVE(株)を持分法適用関連会社化いたしました。GROVE(株)の持つSNSマーケティングのノウハウや機能を活用することで、当社の既存事業の更なる拡大を図り、またSNSから新たなコンテンツIPを開発することを予定しております。

これら取り組みの結果、売上高は3,328,263千円と前年同期比18,382千円増（同0.6%増）となりました。しかしながら、営業利益は39,835千円と前年同期比159,758千円減（同80.0%減）、経常利益は42,853千円と前年同期比166,174千円減（同79.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31,932千円と前年同期比117,332千円減（同78.6%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①メディア・コンテンツ セグメント

当セグメントにつきましては、音楽チャンネルの運営を中心に関連イベントやコンテンツプロデュースを展開するSPACE SHOWER TV事業、アーティストマネジメントからレーベル及びディストリビューションまでアーティストビジネスを360度展開するSPACE SHOWER MUSIC事業、音楽周辺のポップカルチャー領域を開拓するSPACE SHOWER ENTERTAINMENT事業、及び「WWW」「WWW X」を運営するライブハウス事業の4つの事業ユニットを中心に、連結子会社(株)Pヴァインのレーベル事業、コネクトプラス(株)のファンクラブ事業、インフィニア(株)のコンセプトカフェ事業等を加えて、各事業分野の成長施策の推進にあたっております。

SPACE SHOWER TV事業においては、有料放送収入におけるスカパー！サービスの「スペースシャワーTV」配分単価が前年同期比で上昇したことや、ライブイベントの協賛収入が増加したことなどにより売上高は増加しましたが、デジタル動画配信サービスや新規事業への先行投資コストが増加したことにより前年同期比で減益となりました。

SPACE SHOWER MUSIC事業においては、当社アーティストのライブチケット収入が増加したものの、旧譜のパッケージおよびデジタル配信収入がアルバムのリリースの影響により減少したことで、前年同期比で増収減益となりました。

その他、インフィニア(株)が運営する「@ほお〜むカフェ」につきましては、引き続き好調な集客により、売上高、経常利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は3,096,211千円と前年同期比155,413千円増（同5.3%増）となり、経常利益（セグメント利益）につきましては75,591千円と前年同期比117,533千円減（同60.9%減）となりました。

②映像制作 セグメント

当セグメントにつきましては、大型LIVE映像制作の受注が減少したことなどにより、売上高は232,052千円と前年同期比137,031千円減(同37.1%減)となり、経常利益(セグメント利益)につきましても1,111千円と前年同期比16,903千円減(同93.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、主に仕掛金が112,533千円、その他(投資その他の資産)が112,210千円、その他(流動資産)が70,624千円増加し、一方で受取手形及び売掛金が533,509千円、現金及び預金が287,818千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ571,511千円減少し、7,474,141千円となりました。

負債につきましては、主に預り金が80,304千円増加し、一方で賞与引当金が198,071千円、買掛金が142,530千円、未払法人税等が140,969千円、未払金が69,702千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ490,136千円減少し、3,157,099千円となりました。また、純資産は利益剰余金が前連結会計年度末に比べ81,375千円減少したことにより、4,317,042千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね予想通りに推移しており、平成30年4月27日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,916,646	2,628,827
受取手形及び売掛金	2,109,022	1,575,513
商品	233,763	235,114
仕掛品	176,614	289,147
貯蔵品	7,367	10,107
その他	177,757	248,381
貸倒引当金	△54,335	△51,891
流動資産合計	5,566,834	4,935,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,213,027	1,213,027
機械装置及び運搬具	41,955	41,955
工具、器具及び備品	537,190	540,304
土地	72,455	72,455
リース資産	264,532	264,532
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,181,977	△1,216,234
有形固定資産合計	947,185	916,041
無形固定資産		
のれん	146,320	133,773
商標権	162,843	159,689
ソフトウェア	108,174	106,204
ソフトウェア仮勘定	—	3,800
その他	7,291	9,914
無形固定資産合計	424,629	413,381
投資その他の資産		
投資有価証券	267,152	255,527
敷金及び保証金	294,688	302,410
繰延税金資産	479,824	475,345
その他	98,521	210,732
貸倒引当金	△36,296	△36,296
投資その他の資産合計	1,103,890	1,207,718
固定資産合計	2,475,704	2,537,141
繰延資産		
株式交付費	1,146	—
その他	1,967	1,798
繰延資産合計	3,113	1,798
資産合計	8,045,653	7,474,141

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,328,070	1,185,540
リース債務	10,457	10,495
未払金	316,925	247,222
未払法人税等	164,545	23,576
預り金	467,628	547,932
賞与引当金	239,611	41,540
役員賞与引当金	37,225	605
返品調整引当金	48,827	53,355
売上割戻引当金	157	361
その他	126,820	123,608
流動負債合計	2,740,268	2,234,238
固定負債		
リース債務	47,749	45,427
退職給付に係る負債	697,580	710,262
役員退職慰労引当金	155,246	160,801
その他	6,389	6,368
固定負債合計	906,967	922,860
負債合計	3,647,235	3,157,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920,579	1,920,579
資本剰余金	977,579	977,579
利益剰余金	1,500,259	1,418,884
株主資本合計	4,398,417	4,317,042
純資産合計	4,398,417	4,317,042
負債純資産合計	8,045,653	7,474,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,309,881	3,328,263
売上原価	2,347,111	2,505,063
売上総利益	962,770	823,200
返品調整引当金繰入額	—	4,528
返品調整引当金戻入額	16,958	—
差引売上総利益	979,728	818,671
販売費及び一般管理費	780,134	778,835
営業利益	199,594	39,835
営業外収益		
受取配当金	5,442	582
受取賃貸料	290	435
業務受託手数料	4,027	2,951
諸預り金戻入益	1,138	917
助成金収入	2,000	—
雑収入	157	1,119
営業外収益合計	13,056	6,006
営業外費用		
支払利息	362	211
持分法による投資損失	1,168	1,305
株式交付費償却	1,719	1,146
為替差損	373	309
雑損失	—	15
営業外費用合計	3,623	2,989
経常利益	209,027	42,853
税金等調整前四半期純利益	209,027	42,853
法人税、住民税及び事業税	17,120	6,332
法人税等調整額	42,642	4,588
法人税等合計	59,762	10,920
四半期純利益	149,265	31,932
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	149,265	31,932

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	149,265	31,932
四半期包括利益	149,265	31,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,265	31,932
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,940,797	369,083	3,309,881	—	3,309,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,867	3,867	△3,867	—
計	2,940,797	372,950	3,313,748	△3,867	3,309,881
セグメント利益	193,124	18,015	211,140	△2,112	209,027

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△2,112千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成30年4月1日至平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,096,211	232,052	3,328,263	—	3,328,263
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	14,561	14,561	△14,561	—
計	3,096,211	246,614	3,342,825	△14,561	3,328,263
セグメント利益	75,591	1,111	76,703	△33,850	42,853

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△33,850千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。